

# 山田町議会議員視察研修レポート

10月31日（火）～11月2日（木） 栃木県茂木町・壬生町



道の駅での防災の取り組みを視察



防災意識の高さがうかがえました  
(非常持ち出し袋の見本展示品)



高規格道路を活用した道の駅を視察



生産者ごとではなく品目ごとに陳列されており  
購入者の視点に立った工夫が見られました

## 栃木県茂木町

### 道の駅での防災の取り組み

総務教育常任委員会

**道**の駅もてぎは新たな「もてぎ」の情報発信基地、地場産品のPR、

販路の拡大など、茂木町の産業振興の場として位置付ける目的で平成8年に栃木県第1号の道の駅の登録を受けました。

**防**災への取り組み意識が非常に高く、敷地内に茂木町防災館という施設を構え、役場庁舎に次ぐ第2の防災拠点として、緊急避難場所、備蓄倉庫などの整備がされています。

茂木町では道の駅を災害発生等の緊急時の前線基地として考えており、停電時にも使用可能な防災トイレや蓄電池の設置、また緊急時には自動販売機の飲料水を支援物資として無償提供ができる態勢も取られています。

#### 所感

本町においても、災害等により役場庁舎の機能が停止した際、第2、第3の防災拠点となる施設を複数箇所に設置すべきと感じた。道の駅や避難所に防災トイレや蓄電池、飲料水を無償提供できる自動販売機の設置を検討すべきと感じた。

## 栃木県壬生町

### 道の駅の運営について

産業建設民生常任委員会

**道**の駅みぶは北関東自動車道と主要地方道羽生田・上蒲生線の間を整備されており、みぶハイウェイパーク、とちぎわんぱく公園、壬生町おもちゃ博物館、壬生町総合公園の4施設で構成されています。

**そ**の中でも、みぶハイウェイパークは道の駅みぶの中核施設として年間250万人の来場者

があり、壬生町の情報発信の場、産業や文化などの振興の場となっています。

#### 所感

本町においては今後、三陸縦貫自動車道が全線開通した場合、新たな道の駅を検討する必要があります。道の駅みぶと同じように一般道路と高規格道路との連携が取れた施設づくりには幾多の問題や条件があるが、多くの利用者が立ち寄れる施設の検討が必要と感じた。